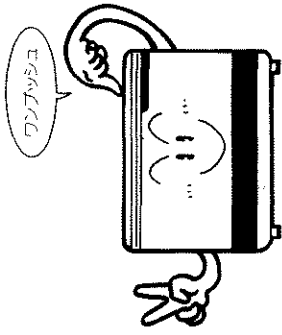
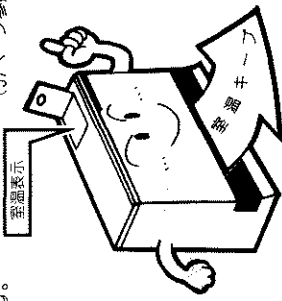
機能と特長

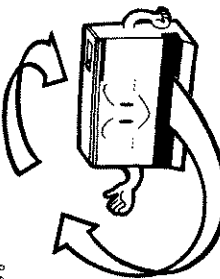
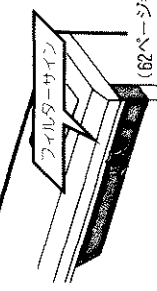
はじめまして、
このガスＦＦ暖房機は、お部屋を快適に暖かくするようにと、次のような特長をそろえました。
機能と特長をじゅうぶんに活用していただき、暖かい冬をお過ごしください。

クリーン暖房の
ＦＦタイプ

屋外より燃焼に必要な空気を取り入れ、排気ガスを屋外へ排出する強制給排気方式（ＦＦ式）ですから清潔・安心です。

簡単操作の
ワンプッシュ点火

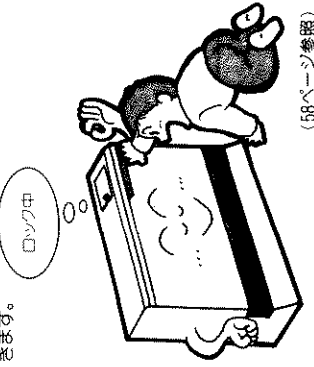
運転・停止は、運転スイッチを押すだけのワンプッシュ操作です。

（57ページ参照）

お部屋の中は快適暖房
室温調節・室温表示機能付

お部屋の温度を、お好みの室温に設定しておくと調節機能（ガス比例制御式）が、ガス量と風量をコントロールし、快適な室温に保ちます。設定室温と現在室温をランプで表示します。（57ページ参照）

また、室温表示ランプで異常時の故障表示を表示しお知らせします。（63ページ参照）

足もとから暖い
温風下吹出し

温風は、足もとから吹出します。部屋の空気を循環させながら暖房するのでむらがなく快適です。

エアーフィルターのほこり詰りをお知らせする
フィルターサイン付

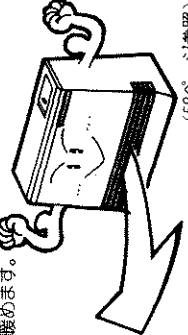
エアーフィルターのほこり詰りをお知らせするフィルターサイン付。サインが点滅したら、フィルターの掃除をしてください。

フィルターサイン

（62ページ参照）

操作ふたをロックする
チャイルドプルーフ付

小さなお子様がいたずらしても、勝手に運転しないよう、操作ふたをロックすることができます。

ロック中

（58ページ参照）

設定室温を忘れない
記憶機能付

設定室温は停止後も忘れません。（57ページ参照）

寒い朝もすぐに暖か
急速暖房機能付

通常より約15％のパワーアップ運転ですばやく暖めます。

（58ページ参照）

大　能　力

能力80号の大スペース用ですから学校・事務所などに最適です。

安心暖房
安全装置付

使用中の万一の事故を未然に防ぐ各種安全装置付です。
- 立消安全装置
- 過熱防止装置

⋮

4種類の安全装置付

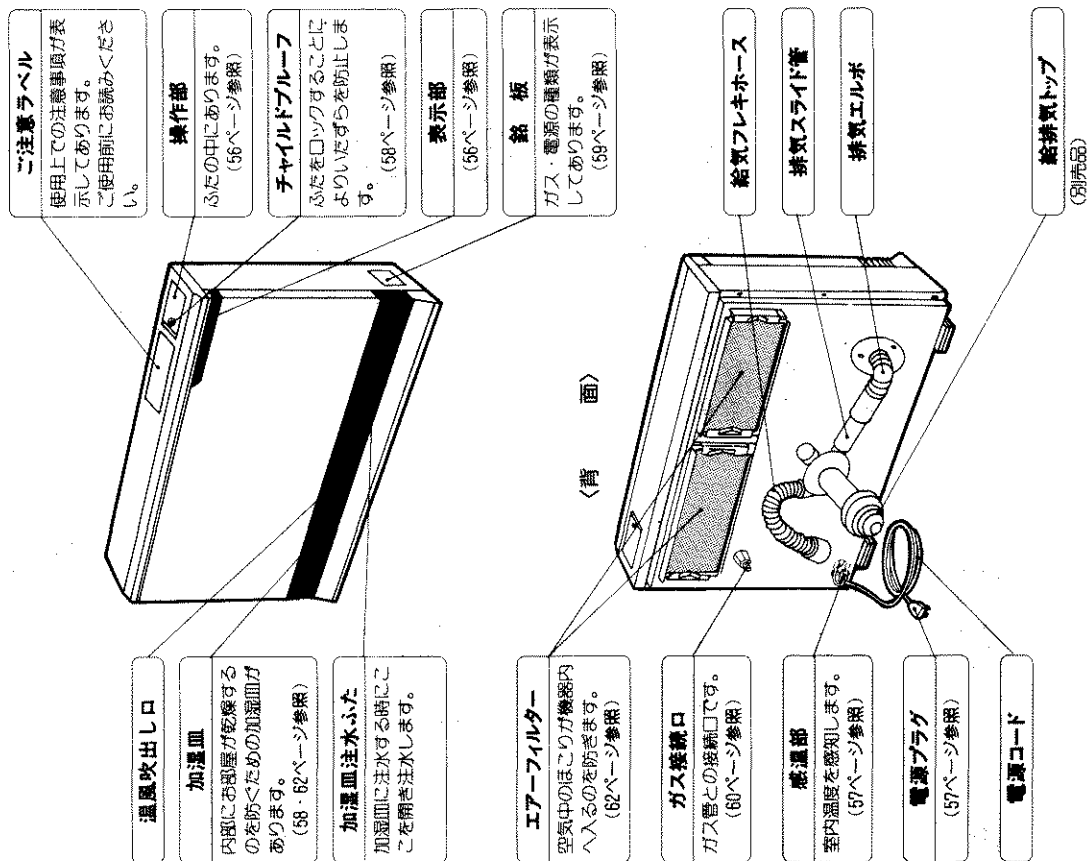
乾燥から守る
加　湿　皿　付

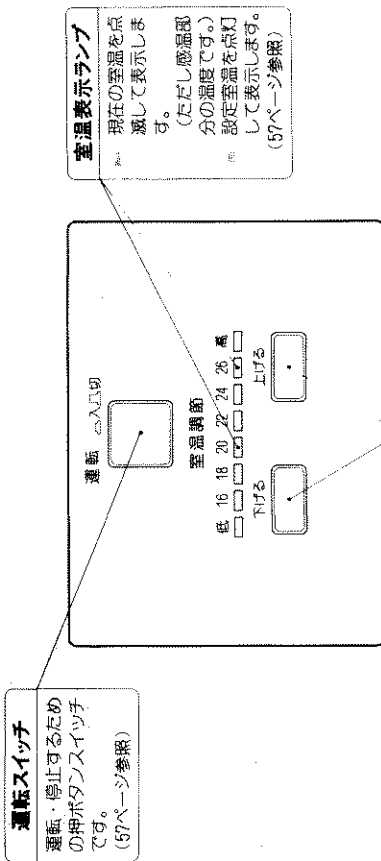
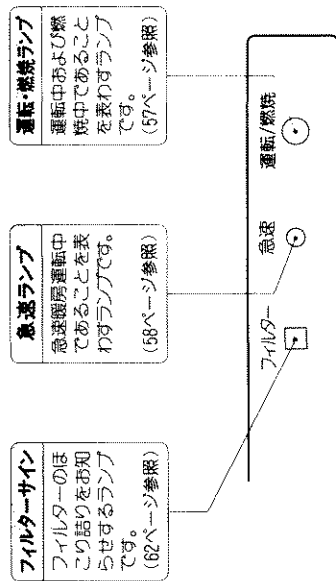
お部屋の空気を乾燥させないように加湿皿付です。（58ページ参照）

※くわしくは（　）内のページをごらんください。

各部の名称とはたらき

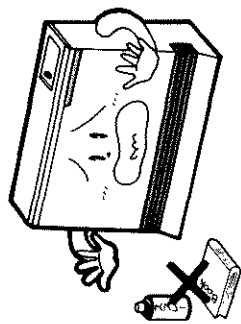
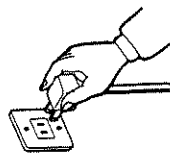
ガスＦＦ暖房機の各部の名称とはたらきを紹介します。

外　観

操作・表示部

〈操作部〉

〈表示部〉

操作のしかた

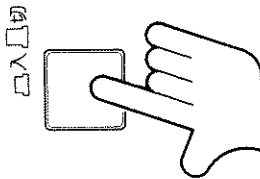
ガスＦＦ暖房機の使いかたです。
お使いになられるときは、59〜61ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

運転前の準備と確認

1 機器の近くにスプレーや燃えやすいものがないことを確認します。

2 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

3 お部屋のガス栓を全開にします。

運転のしかた

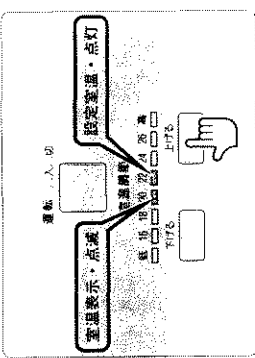
■運転スイッチを押します。

- 運転／燃焼ランプの緑色と室温表示ランプが点灯します。
- 燃焼ファンが回転しスパーク音がします。
- 点火すると運転／燃焼ランプが緑色から赤色の点灯に変わり、バーナーに点火したことをお知らせします。
- 運転／燃焼ランプが赤色に変わってから約20秒後に温風が出ます。

（ご注意）
- 初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときは、運転操作をしても配管内に空気があるため、１回の操作で点火しないことがあります。
- スパーク音がして、約15秒程たっても点火しないときには、自動的に運転を停止します。そのときには、再度運転操作を行ってください。

室温調節のしかた

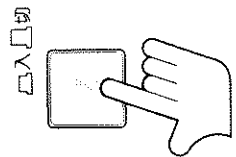
■室温調節スイッチを押し、室温を設定します。

- 初めて運転されるときは、設定室温が22℃にセットされています。
- 表示部を見ながら室温調節スイッチを押し、ご希望の室温にセットしてください。

※設定室温は一度セットすれば、運転スイッチを「切」にしても記憶しています。毎回、セットする必要はありません。

（ご注意）
- 室温調節スイッチでセットした設定室温よりも、現在室温の方が高いときは、点火後、約90秒で、室温コントロールが働き消火します。設定室温を調節して、現在室温より高くしてください。設定室温よりも現在室温が低くなるまで再度点火動作に入りません。
- 自動室温調節により、燃焼が停止するときがあります。そのときは、運転／燃焼ランプが赤色→緑色に変わります。
- 室温表示は、機器裏面の感温部の温度を表示していますので、お部屋の温度とは若干異なります。室温表示は目やすとしてください。

停止のしかた

■運転スイッチを押し「切」にします。

- 運転／燃焼ランプが消えます。
- 消火後、対流ファンは数分間、回転しつづけてから停止します。(機器内の温度が低くなるまで冷やすためです。)
  その間は、電源プラグを抜かないでください。

（ご注意）
- 燃焼中、運転スイッチを「入」のまま、お部屋のガス栓の操作による停止や、電源プラグの引き抜きによる停止は、行わないでください。故障の原因になります。

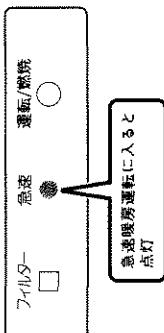
操作のしかた

急速暖房機能

■寒い朝など、お部屋をす速く暖める機能です。

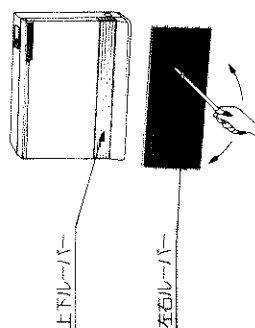
- お部屋の温度が設定室温より約2℃以上低いと、点火した時から15分間に限り自動的に大きな能力で運転し、す速くお部屋を暖めます。
- お部屋の温度が設定室温に近づくと、自動的に急速暖房運転は解除されます。

フィルター　急速　運転/燃焼

急速暖房運転に入ると点灯

（ご注意）・**お部屋の温度が設定室温(室温調節スイッチでセットされた温度)より高いときや、運転スイッチを入れてから15分以上経過したときは急速暖房運転しません。**

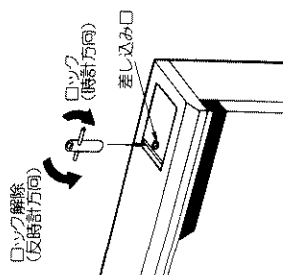
風向き調節のしかた

■風向きは左右にかえることができます。

- ドライバーなどの適当な棒で左右ルーバーの向きを調節します。

（ご注意）
- **調節は、何回も行うとルーバーが折れる場合があります。(5～6回程度としてください)**
- **上下ルーバーは、固定式ですので調節できません。**
- **温風が吹出している時は、熱くなっています。風向調節はやけどをするおそれがありますので行わないでください。**

チャイルドプルーフのしかた

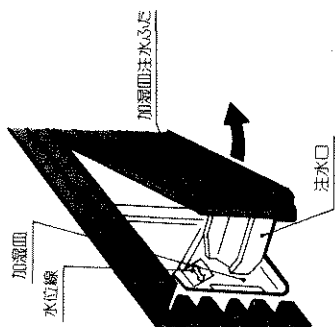
小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため、操作部のふたは施錠できる様になっています。

- 附属品の専用キーで施錠を行ってください。右(時計方向)へ回せばロックできます。又、左(反時計方向)へ回せばロック解除となります。

（ご注意）**専用キーを紛失されますとロックして開かないことになりますので、大切に保管してください。(附属品として2個入っています。)**

加湿皿への注水のしかた

お部屋が乾燥する時は、加湿皿へ注水し加湿してください。

■加湿皿注水ふたを開きます。

・ルーバーをつまんで引きます。

■注水口に注水します。

・やかんなどで静かに水位線まで水を入れます。注水が終わりましたら加湿皿注水ふたをもとにもどします。

※部屋の大きさ、室温などによっては、附属の加湿皿では不足になることがあります。その場合は、市販の加湿器をご使用ください。

※加湿皿には、約3000ccの水が入りますが、使用可能時間は10～15時間と時間に幅がありますので、ときどき水量を確認してください。

（ご注意）
- **温風が吹出しているときは、熱くなっています。加湿皿への注水はやけどをするおそれがありますので行わないでください。**
- **お部屋が結露しやすい状態のときには、注水をさけてください。**
- **水位線より上への注水は、しないでください。**

加湿皿注水ふたロックのしかた

小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため加湿皿注水ふたは施錠できる様になっています。

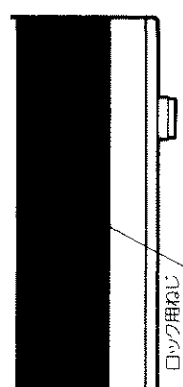
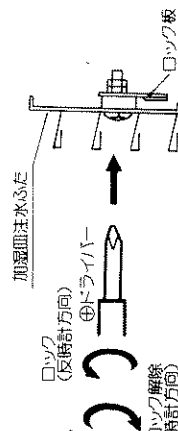
■ロック

・ロック用ねじを⊕ドライバーで左へ回します。

ロック用ねじ

■ロック解除

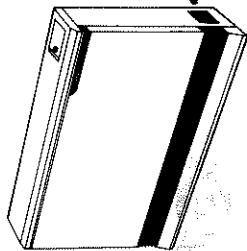
・ロック用ねじを⊕ドライバーで右へ回します。

加湿皿注水ふた　ロック(反時計方向)　⊕ドライバー　ロック解除(時計方向)　ロック板

使用上のご注意

ガスＦＦ暖房機をお使いになる前に、次の項は必ずお読みください。

使用ガス・電源について

■ガス種・電源は、機器右側面の銘板に表示してあります。

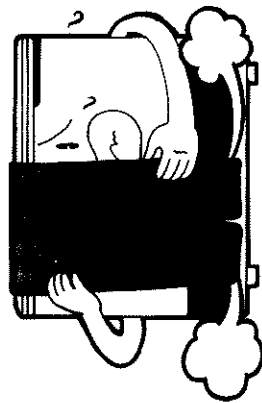
- 銘板に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
- この器具はＡＣ100V (50/60Hz) 用です。AC 100V以外の電源電圧では使用できません。

RHF-1004F-2
外壁用 (FF-W)
都市ガス13Ａ・12Ａ用 → ガス種の確認
13Ａ・9,600kcal/h
12Ａ・8,950kcal/h
リンナイ株式会社
定格電圧 100V → 電源の確認
定格消費電力 120W
定格周波数 50-60Hz
○○○○○○○
リンナイ株式会社

銘板

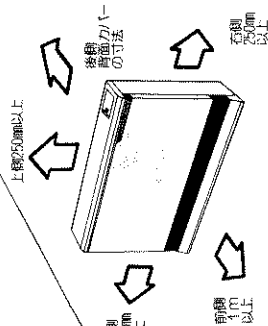
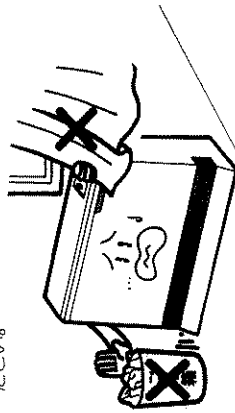
(ご注意)
- **ガス種・電源が万一違っているときは、お買上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと性能が不十分であったり、危険な場合があります。**
- **転居されてご使用になる場合、供給されているガスの種類、電源をご確認ください。もし違っている場合は、調整や改造が必要となりますので転居先のガス事業者にご相談ください。** (65ページ参照)

用途について

■衣類の乾燥などに使用しないで！

- 暖房以外の用途（洗濯物など衣類の乾燥）に使用しないでください。
- 衣類など機器の上に置いたり、掛けたりすると温風吹出し口や、フィルター部分がふさがれて、機器内に熱がこもり大変危険です。

使用場所について

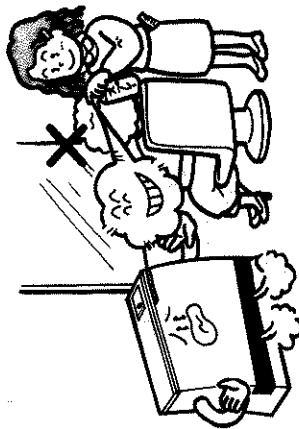
■可燃物を近づけないで!!

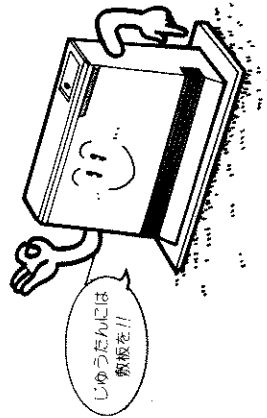
家具、壁、カーテンなど燃えやすいものからじゅうぶん離れたところで使用してください。
機器を設置されるときじゅうぶんに確認してください。

可燃物との離隔距離

- 機器の前方１m以内に物を置くと、温風がこもって機能がはたらかず、温度コントロールができなくなることがあります。
機器の前方１m以内には物を置かないでください。

■特別な部屋での使用は避けて!!

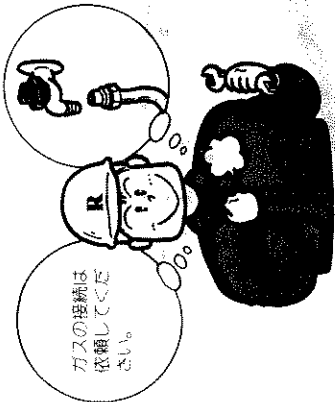
この機器は、一般家庭の暖房用としてつくられています。美容院、工場など、スプレーや化学薬品を使用したり、綿ぼこりの多い場所では、使用しないでください。

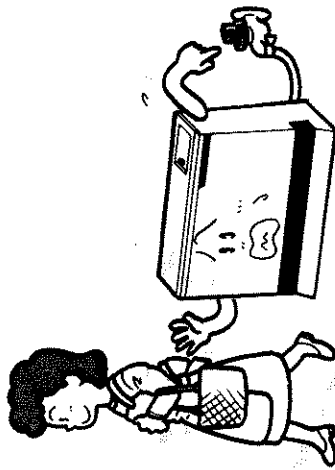
ＦＦ温風暖房機で暖房している部屋では、シリコンを配合した枝毛用コート、ヘアートリートメント化粧品(枝毛用)は、点火ミスや途中消火など故障の原因となりますので使用しないでください。

■じゅうたんには敷板を!!

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じょうぶで不燃性の敷板などを敷いてください。長時間使用すると、じゅうたんが変色したりすることがあります。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

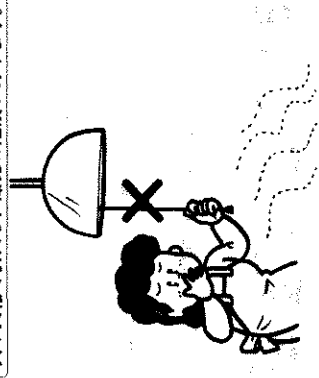
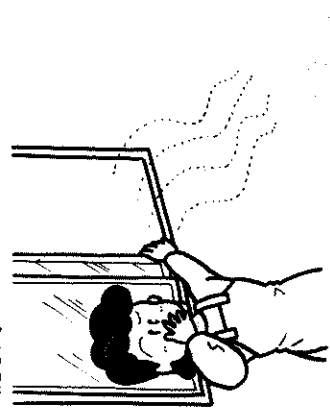
■**ガス接続は専門業者に依頼を!!**

ガス管は規定の強化ガスホースか、金属管接続が必要です。お買い上げの販売店または、当社の支社、支店、営業所などへ依頼してください。

■**外出はガス栓閉めて!!**

外出の時など使用されない時は、ガス栓を必ず閉めてください。

ガス事故防止

■**ガス臭いときには!!**

換気扇や電気器具のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差し、ライターなどで火をつけたりすることは絶対にしないでください。

火や火花で引火し、爆発の危険があります。

あわてずに、ガス栓を閉じ窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、お買い上げの販売店または、当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。

やけどに注意

■**温風吹出し口は熱くなっています!!**

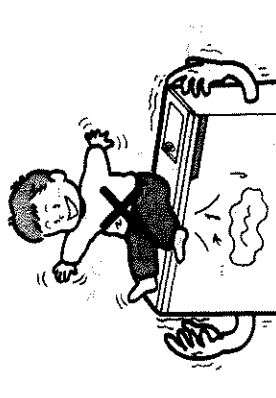
温風吹出し口に、手や体を触れるとやけどをすることがありますので、特にお子様が触れることのないように注意してください。

■**機器にはのらないで!!**

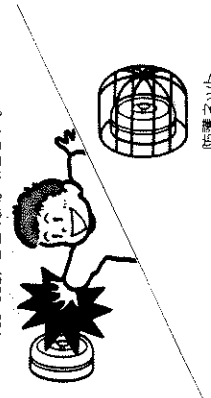
機器にのったり、腰をかけたり、重いものを乗せたりしないでください。

機器が変形したり、やけどや機器の故障の原因になります。

■**温風を、直接身体に当てないように!!**

温風を長時間、直接身体にあてますとやけどのおそれがあります。特に小さなお子様、お年寄、病気の方には、まわりの方が注意してください。

■**給排気トップは熱くなっています!!**

暖房中の給排気トップは熱くなっています。手で触れたり顔を近づけたりしないでください。お子様の手の届く位置へ設置される時は、防護ネット(別売品)をご利用ください。

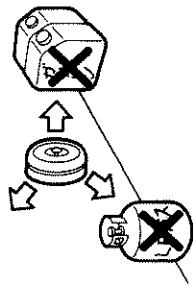
ご注意

- **給排気トップからは、排気ガスや水蒸気が出ますので近くに植木、愛玩動物など、腐食、汚染されては困るものは置かないでください。**
- **給排気トップに袋やあき缶などをかぶせたり、密閉状態になるようなカバーをしたまま使用しないでください。**

使用上のご注意

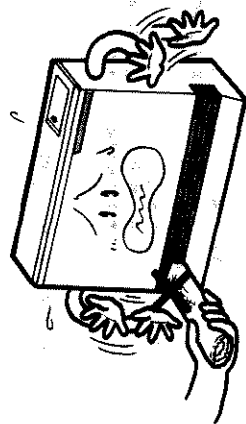
火災予防

■引火物を近づけないで!!

機器や給排気トップの近くには、危険物（ガソリン、シンナーなどの引火物）を絶対近づけないようにしてください。また、機器の近くでヘアースプレーなどの引火物を使用しないでください。

引火するおそれがあります。

■温風吹出し口に物を入れないで!!

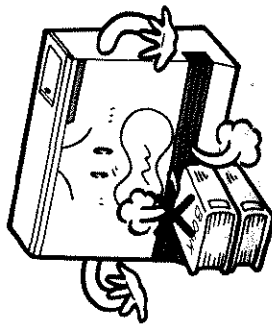
紙、布、プラスチックなどを、温風吹出し口に入れないでください。

燃えたり、異常過熱をおこしたりして、たいへん危険です。

■スプレー缶を機器の前に置かないで!!

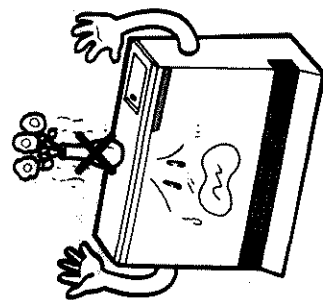
スプレー缶（殺虫剤、ヘアースプレーなど）を機器の前方1m以内に置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。

■温風吹出し口をふさがないで!!

機器の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。また、温風吹出し口の前に物を置いたりして温風吹出し口をふさがないでください。

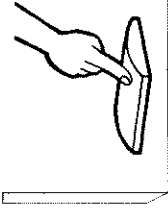
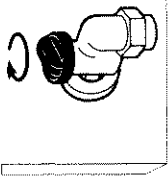
温風吹出し口をふさぐと、異常過熱をしたり、温度コントロールができなくなることがあります。

■機器に水がかからないように!!

機器の上に、花瓶、やかんなどをのせないでください。

機器内部が水でぬれますと、腐食するばかりでなく、漏電、火災の危険があります。

異常時の処置

あわてず、まず消火を!!

万一、異常が起きたとき（機器が異常に熱い、ゴーゴー音がするなど）や、緊急のときでもあわてずに運転スイッチを「切」、ガス栓を閉じ、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。

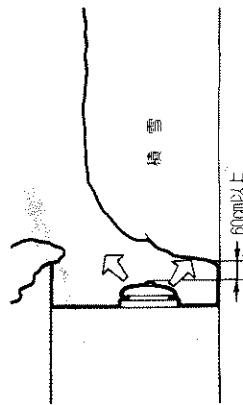
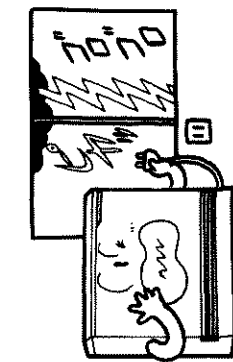
1 運転スイッチを切り

2 ガス栓を閉め

3 お買い上げの販売店へ連絡

雷に注意

雷が接近したときは、使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

激しい雷のときは、機器を損傷することがあります。

積雪に注意

給排気トップは、積雪で覆われたり、つららの落下により破損したりして、排気がじゅうぶんに排出されなくなると機器の故障の原因となります。給排気トップの周囲に積雪、つららなどがないようにしてください。

給・排気筒についてのご注意

・機器本体に必要以上の振動を与えないでください。給・排気筒のはずれの原因になります。
・給・排気筒がはずれているのに気がついたら、ご使用をやめて、お買い求めの販売店、または もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

機器の設置について

・機器の設置は、お買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

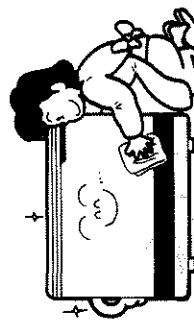
・正しく設置されているか、工事説明書を参照して確認してください。

お手入れのしかた

安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行いましょう。

ご注意
- 機器が冷えているときに、行ってください。
- エアーフィルター・加湿皿以外の部品は絶対に分解しないでください。
- 給排気トップにカバーなどがしてあったり、近くに可燃物などが置いてないか確認してください。
- ガス管、電源コードが高温部に触れたり破損していないか確認してください。
- 給排気筒の接続部が外れていないか確認してください。

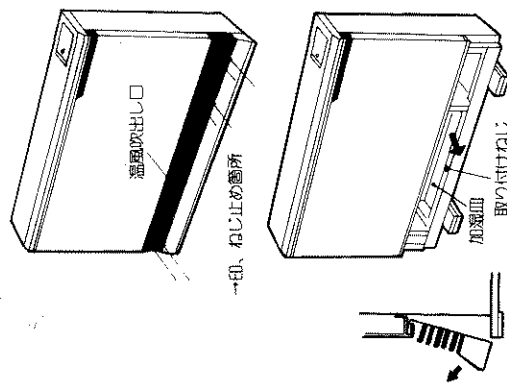
器体のお手入れ

やわらかい布をぬるま湯でぬらして、よくしぼってから拭いてください。

ご注意　ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。塗装の色があせたり樹脂の部品が変形したりします。

加湿皿のお手入れ

暖房シーズンが終わったときに行ってください。

- 温風吹出し口の取り付けねじ6本を⊕ドライバーで外します。
- 温風吹出し口を下図の様に下部を手前に引いて外します。
  注水口が引っ掛る場合がありますので注意してください。
- 加湿皿取り付けねじを外して加湿皿を持ち上げながら取り出します。
- 清掃後は逆の手順にしたがい必ず加湿皿を取り付けます。（忘れますと異常過熱の原因になります。）

温風吹出し口
→印、ねじ止め箇所

ご注意
- 長期間お使いになると、水にとけ込んでいるいろいろな成分が蒸発した後に白い粉として残り、皿内部に付着します(特に害になることはありません)。
- また、水を入れたまま使用しないでおくと水あかや藻が発生して不衛生です。いずれも加湿皿を取り出して水洗いします。
- 掃除・お手入れは、けがを防ぐためにも必ず手袋をはめて行ってください。

エアーフィルターのお手入れ

「フィルターサイン」が点滅したときは必ず掃除をしてください。

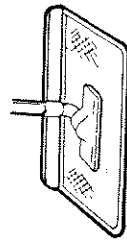
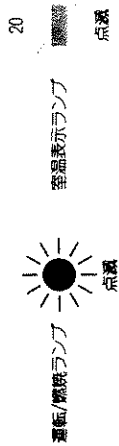
■エアーフィルターに、ほこりやごみがたまると、「フィルターサイン」が点滅します。このときは必ず運転を止め、機器が冷えてから、すみやかに掃除してください。

エアーフィルター
エアーフィルターは、上に引き抜くと外れます。

■フィルターサインが、点滅していなくても、ほこりがたまっていると思われるときは、お部屋の掃除などのときにいっしょに掃除をされると簡単で気持よくお使いいただけます。
（1週間に1回程度）

■エアーフィルターは、取り外すことができますのでフィルターの表・裏のほこりを電気掃除機や、はたきでよく掃除してください。

■油などで特に汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)で手早く洗い、水気をよくはらってから、じゅうぶんに乾燥させてください。

■掃除が終わりましたら、確実に取り付けてください。

ご注意
- フィルターサインが点滅したままご使用を続けますと、センサーが異常と判断し、自動的に運転を停止することがあります。
- 停止すると室温表示ランプの20と「運転／燃焼」ランプが点滅し、安全装置が働いたことをお知らせします。（63ページ参照）
  このときは、エアーフィルターをすみやかに掃除してください。

安全装置

この機器には、安全装置が作動したときのお知らせ機能がついています。
使用中に、機器が停止したら安全装置が作動していないか調べてください。

安全装置作動時の表示 室温表示ランプ	安全装置作動時の表示 運転/燃焼ランプ	安全装置	働き	原因	処置方法
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「低」「16」「18」点滅	点滅（赤色）	スパーク安全装置	点火時スパークが正常に飛ばないときに作動し運転を停止させます。		修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「16」点滅	点滅（赤色）	立消安全装置	点火時、バーナーに着火しなかったときなどに安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。	ガス栓が閉まっていたり、開きたりなかったときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「低」点滅	点滅（赤色）	立消安全装置	使用中にバーナーの炎が消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。	ガス栓が開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「20」点滅	点滅（赤色）	過熱防止装置（温度スイッチ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。	エアーフィルターがほこり詰りしていたり、または温風吹出し口に障害物があるときなどに作動します。	エアーフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後しばらく（5～6分）してから再運転してください。（電源プラグは対流ファンが回っているあいだは抜かないでください）
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「20」点滅	フィルターサイン 点滅	過熱防止装置（温度ヒューズ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。	異常過熱状態になったときに作動します。	修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 消灯	消灯	過電流保護装置（電流ヒューズ）	過電流が流れたときに、ヒューズを切り運転を停止させます。	電気回路がショートしたときなどに作動します。	修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 全点滅	点滅（赤色）	停電安全装置	停電中は使用できません。安全装置が働き、ガス通路を止め運転を停止させます。	停電したときに作動します。	通電したら、再運転してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください。

現象	点検のポイント	参照ページ
運転スイッチを押しても運転しない。(運転/燃焼ランプ：緑色が点灯しない)	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。	57 — —
点火しない(運転/燃焼ランプ：赤色に点灯しない)	●お部屋のガス栓が全開になっていますか。 ●ガス管内に空気が残っていませんか。	57 —
使用中に消火する	●エアーフィルターにほこりがたまっていませんか。(フィルターサインは点滅していませんか。) ●温風吹出し口がふさがれていませんか。 ●給排気トップがふさがれていませんか。	62 61 60
よく暖まらない	●エアーフィルターにほこりがたまっていませんか。 ●設定室温が低くありませんか。 ●部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●温風吹出し口が障害物でふさがっていませんか。 ●強化ガスホースがつぶれたり、折れたりしていませんか。 ●お部屋のガス栓は、全開になっていますか。 ●機器前方1m以内に物が置いてありませんか。	62 — — 61 — 57 59
ガス臭い	●ガス管の接続は確実にされていますか。	60

こんなときは故障ではありません。

現象	原因と対策
シーズン始めや、長時間運転しなかった後、なかなか点火しない。(燃焼ランプがつかない)	点火（燃焼ランプが点灯）するまで運転操作をくり返します。
初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいが出る。	機器内部の部品などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
点火したときや、停止した後「コン」「コン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁（電気で開閉するガス弁）が作動するときの音です。
点火したときに、「ボッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
部屋が乾燥する。	部屋の温度が上がると相対湿度が下がるためです。加湿皿に注水してください。なお不足のときは市販の加湿器をご使用ください。
運転してもすぐ温風が出てこない。	冷風を出さないようにしてあります。機器内部が暖まると、自動的(点火後約20秒程して)に温風が出はじめます。
運転中に「シャー」と音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
点火後や、停止後に「チリ」「チリ」とキシミ音が出る。	機器内部の部品などが加熱や冷却される際に金属が膨張、収縮して起こる音です。
停止してもすぐに対流ファン(温風)が停止しない。	機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから、再度運転操作をしてください。
寒い日、給排気トップから白い煙がでる。	排気ガス中の水蒸気が湯気として白く見えるもので異常ではありません。

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

ご注意 **不完全な処置は、事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身での分解、修理はしないでください。**

アフターサービスについて

■サービスを依頼されるときは

- 64ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明な場合には、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所などにご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
  (1)お名前・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
  (2)品名（RHF-1004F）
  (3)ガスの種類
  (4)現象（できるだけ詳しく）
  (5)訪問ご希望日

■保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店・お買上げ日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後7年間となっています。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

■転居される場合

- ガスの種類および電源周波数が異なる地域へ転居される場合は部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種および電源周波数を確認のうえもよりの当社の支社、支店、営業所などまたは転居先のガス会社に相談し調整したうえでご使用ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。また転居先で設置工事をなさる場合は必ず専門の工事店に依頼してください。

■アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店または、当社の支社、支店、営業所など（別添の「連絡先」一覧表ご参照）にお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 電源プラグはコンセントより抜いて、お部屋のガス栓は確実に閉めてください。
- また、暖房シーズンが終わって、次のシーズンまで長期間保管しておく場合、62ページのお手入れを行って、そのまま設置した状態で保管してください。
- 加湿皿に水を入れておかないでください。

（ご注意）
・お客さま自身で移動したり、設置したりしないでください。
・機器の下にある、じゅうたん、畳などを交換する場合はお買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。